



森田医院通信

新型肺炎「COVID-19」

Vol.47

2020年2月17日

令和元年12月の中国武漢市での非定型肺炎の集団発生の発表に始まる新型肺炎は、原因がコロナウイルスであることが判明したのちも拡大しています。世界保健機構（WHO）はこの新型肺炎を「COVID-19」と命名し注意喚起を行っています。

まだわからないことだらけの新型肺炎ですが、今わかっていることをまとめてみました。

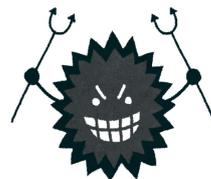
コロナウイルスは通常は人に日常的に風邪を起こす原因ウイルス（風邪の原因の10～15%（流行期は35%））です。しかし動物から人に感染する一部のコロナウイルスは人に重症肺炎を起こし、2002年に中国で発生したSARS（コウモリから人に感染；致命率約10%）や、2012年にサウジアラビアで発生したMARS（ラクダから人に感染；致命率約35%）などが知られています。これらはいずれも高齢者や基礎疾患を持つ人で重症化し小児の発症はまれです。今回はこれまでと違ったタイプのコロナウイルスによる肺炎と考えられます。

コロナウイルスの感染は現在飛沫感染と接触感染の2つが考えられます。

（1）飛沫感染 くしゃみ、咳、つばなどと一緒にウイルスが放出され、他人がそのウイルスを吸い込んで感染します。

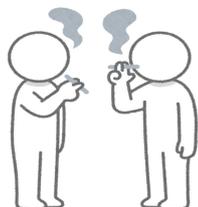
（2）接触感染 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付きます。他人がその物に触ることによりウイルスが付着し、その手で口や鼻を触って粘膜から感染します。

感染の予防のためには石けんと流水の手洗いやアルコール手指消毒剤を用いた手指消毒が重要です。ウイルスがついた手で目・口・鼻等の粘膜に触らないようにしましょう。ほかの人に移さないためにも咳エチケット（咳やくしゃみをする際、マスクなどで口や鼻をおさえること）を心掛けましょう。マスクの着用は、咳などでウイルスが飛散するのを防ぐ効果があります。逆に、相当な人混みでなければマスクに予防的な効果はあまりありません。新型コロナウイルス肺炎が疑われる場合は各保健所に設置されている帰国者・接触者相談センターに相談するようにしましょう。



一言コラム 職場の受動喫煙と家庭高血圧

先日、東北大学から”職場の受動喫煙により家庭高血圧が上昇する”という発表がありました。報告によると、受動喫煙ありの人はなしの人と比べ、年齢が若く（58.7歳 / .60.6歳）、体格が大きめ（BMI23.2 / .22.7）であり、職場での受動喫煙で家庭高血圧のリスクは1.49倍高かったとのことです。



この結果から、高血圧の予防には体重管理や節酒・塩分制限などの生活習慣改善に加え、受動喫煙防止も重要であり、職場における受動喫煙防止に向けた環境整備は、高血圧予防という公衆衛生上の観点からも必要だろうとのことです。喫煙が体に悪いことは以前から知られており喫煙率は低下してきていますが、今後、受動喫煙についても意識していく必要があるようです。

ニュース 大阪も花粉シーズンイン

今年も花粉症のシーズンになってきました。大阪では2月12日に花粉がシーズンインしたとのことです。全国で見ると、すでに関東や東海、九州では全域で花粉シーズンが始まっています。今年の花粉のピークは大阪ではスギが2月下旬から3月中旬まで。ヒノキが3月下旬から4月上旬が予想されています。なお、今年の花粉の飛散量は西日本では全体的に昨年より少なめになるのではないかとわれています。

花粉症は花粉を吸い込んだり目に付着することで起こるアレルギーの病気で、くしゃみや鼻水、目の充血やかゆみなどが主な症状です。

花粉症の対策としてはマスクやゴーグル等で花粉が付着するのを防ぐことが重要です。また症状がひどければ抗アレルギー薬の内服により治療を行います。症状が気になる方は一度ご相談ください。

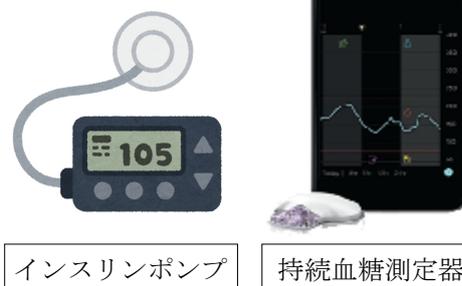


糖尿病ってどんな病気? その37 アメリカで初のインスリン自動注入コントローラーが承認

少し前になりますが、米国食品医薬品局（FDA）は2019年12月に自動血糖管理コントローラーの市販を承認しました。

以前から主に1型糖尿病の方を対象に、皮下に針を入れ持続してインスリンを注入するインスリンポンプや、皮下に針を入れ持続して血糖を測定する持続血糖測定器はありましたが、今回はこの2つを統合してコントロールするというものです。このシステムでは過去のインスリン注入記録と血糖測定値や血糖値の変動予測に基づいてインスリン注入量の増加や減少を自動でコントロールできるそうです。また低血糖を予測しインスリンの注入を中断したりする機能もあるようです。

インスリン分泌能が失われると血糖値が著しく高値になり、1日に複数回のインスリン自己注射を行ってもコントロールが難しいことが多くなります。今後、今回のような機械の進歩により安全に良好に血糖値を保つことができるようになっていくことが望まれます。



インスリンポンプ

持続血糖測定器

お知らせ

2019年度末が近づいています。年度が変わると、特定健診やワクチンなど補助の期間が終了し補助が受けられなくなるものがあります。

必要なものを確認し、まだ受けておられないものは早めに受けるようにしましょう。

医療法人
森田医院

所在地：大阪府寝屋川市八坂町6-23 電話：072-821-0446
ホームページ：<https://www.moritaclinic.or.jp>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日 祝
9時-12時30分	○	○	○	-	○	○	-
17時-19時30分	○	○	○	-	○	-	-



※受付時間 午前 08:30 ~ 12:30 午後 16:30 ~ 19:30
午前は8時30分、午後は16時30分に解錠し受付を開始します。